

実施結果報告書

1. 学校名：広陵町立真美ヶ丘第二小学校					
2. 学習名称：ふるさと学習					
3. テーマ：「広陵元気号」について考えよう					
4. 実施教科：総合学習					
5. 関連単元：国の政治のしくみと選挙（6年 政治単元）					
6. 実施単元数：3時間					
7. 学年	第6学年	8. クラス数	2学級	9. 生徒数	58人
<p>10. 実施内容</p> <p>奈良県広陵町で運行しているコミュニティバス「広陵元気号」の利用促進の提案を広陵町長に提案する取組を行う。広陵町は陸の孤島と呼ばれており、町内に電車の駅が1箇所（近鉄箸尾駅）しかなく、住民は自動車がないと移動に苦勞する。また、通勤・通学は大変で、近鉄高田駅・近鉄箸尾駅までの送迎がないと、どこにも行けない。ただ、自動車を利用すれば15分圏内にはさまざまなものを購入することができる店や外食ができるところもあり、利便性は高い。</p> <p>ただ、高齢者にとっては広陵町のコミュニティバス「広陵元気号」の存在はきわめて重要であり、今後より利便性の高い運行方法を模索していくことが必要である。そのためにはどのような運行ルートにすればよいか、どのような観光PRをすればよいか、といった点について行政サイドに提案していくことが求められる。</p> <p>児童の提案とは言え、できれば広陵町の観光PRとコミュニティバスの利用促進が一体となった取組に発展することが望ましいと考える。また、ニュータウンに居住していることもあり、地域への愛着が希薄な児童たちに地域の人々とのふれあいの大切さや地域の魅力を再発見させる意味でも、ふるさと教育の一環としてのこの取組は有効であると考え。また、地域への愛着・地域再発見により、地域とともに歩むことができる人材を育成することができるものと考え。</p>					

1 1 学習のながれ

○「コミュニティバス・広陵元気号」の出前授業を受けた時に児童から出された意見（主に、下記の2つの意見に集約された）

- ・「広陵元気号」が自分の住んでいるエリアを通っていない
- ・バスに乗ることで、環境を守ることにつながる

○「地域の公共交通」について考えよう

コミュニティバスの良い点と悪い点

(良い点)

- ・最寄り駅まで利用しているので便利である

(悪い点)

- ・親に送迎してもらったり、自転車・徒歩で駅に向かうことが多い

(コミュニティバスの役割)

- ・電車などより短い距離を細かく移動する経路にする
- ・高齢者の移動の手助けとなっている
- ・地球にも環境にも優しい

(町をよくするためにコミュニティバスをどう改善すればよいか)

- ・Wi-Fiを付ける
- ・5分ごとにコミュニティバスが運行するシステム
- ・ポイントカードを発行する
- ・より小型にして町中を走りまくる
- ・自家発電するエコバス使用にする
- ・オンデマンドタクシーみたいにする
- ・地域の飲食店とコラボし、飲食コーナーを作る
- ・バス専用道路を作る
- ・椅子の向きを簡単に換えられるようにする
- ・2階建てバスを作る

(主な議論の内容)

- ・たくさんの方が利用できるようにするための手立てを考えた
- ・環境を守るための改善案を考えた

学習指導略案

第1時 「わが町・広陵町」

過程	学習内容	主な発問と 予想される児童の反応	指導上の留意点	資料
	○ 広陵町の交通	○ 町内の交通網には、どのようなものがあるだろう。 ・ 奈交バス・近鉄電車・広陵元気号	・ 広陵町が陸の孤島となっている点について把握させる。	☆ 奈良交通、☆ 広陵町内路線図
	○ 「広陵元気号」について	○ みなさんは「広陵元気号」は知っているか。 ・ 知っている ・ 知らない ○ 「広陵元気号」を利用したことはあるか。 ・ 利用したことはない。 ・ 数回、乗ったことがある	・ 交通空白地域を補うために「広陵元気号」が投入されていることを知る。 ・ 「広陵元気号」のさまざまなデータを見て現状を確認する。	☆ 「広陵元気号」路線図 ☆ 「広陵元気号」認知度
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 「広陵元気号」を維持するために、どのような取組が行われているのだろう。 </div>				
	○ 「広陵元気号」の運営・維持	○ 利用率が低いにもかかわらず、「広陵元気号」の充実、維持を望む声が多いのだろう。	・ 高齢者の足として、「広陵元気号」欠かせないことを確認させる。	☆ 「広陵元気号」の運営・維持費用
	○ 「広陵元気号」の課題	○ 広陵元気号にはどのような課題があるだろう。 ・ 利用率の低さ ・ 知名度の低さ(20代) ・ 運行本数の少なさ	・ 広陵町が出しているデータをもとにコミュニティバスの課題を出させる。	☆ 「広陵元気号」利用者数
	○ 課題の解決方法	○ コミュニティバスの課題を解決するために広陵町はどのようなことを行っているのだろう。 ・ 「広陵元気号」の有料化 ・ 観光客向けのパンフレットの作成 ・ モバイルサイトへの情報提供 ・ 観光イベントの実施	・ 広陵町が出しているデータをもとに課題の解決方法について説明し、確認させる。	☆ 「広陵元気号」利用者の年代別利用状況、
	○ 広陵町の観光地	○ 広陵町にはどんな観光地があるだろう。 ・ 古墳 ・ ナス農園 ・ いちご農園 ・ 靴下工場の見学 ・ かぐや姫の里	・ パンフレットを見ながら、広陵町の観光地として活用できる場所を拾わせる。	☆ 広陵周遊
	○ まとめ	○ ワークシートに整理しよう。	・ ワークシートに学習したことをまとめさせる。	☆ ワークシート

第2時 「他地域のコミュニティバス」

過程	学習内容	主な発問と 予想される児童の反応	指導上の留意点	資料
導入	○ 前時の復習	○ 「広陵元気号」にはどのような課題があったか。 ・ 知名度が低い(20代) ・ 利用率の低さ ・ 運行本数の少なさ	・ 「広陵元気号」の現在の状況について再確認させる。	
		○ 課題を解決するために広陵町が考えていることは何か。 ・ コミュニティバスの増便 ・ 観光ルートの開発やイベントの実施 ・ 町民や観光客向けのパンフレットの作成	・ 町行政も課題解決の方法を試行錯誤していることを知る。	☆ モバイルサイトへの情報提供

展 開		・コミュニティバスの有料化 ・モバイルサイトへの情報提供		
	広陵町コミュニティバスの利用促進策として、他地域のどのような事例を取り入れたらいいのだろう。			
	○広陵町の観光地	○「広陵元気号」広陵町にはどんな観光地がありますか。 ①古墳・・・牧野古墳、巢山古墳 ②食事、宿泊、朝市・・・はしお元気村、グリーンパレス②かぐや姫・・・讚岐神社、まつり ③祭・・・戸閉祭、立山祭	・広陵町の観光地について、再度確認させる。	・広陵周遊
	○広陵町のコミュニティバスを維持・充実させるために	○広陵元気号を維持・充実させるために、どのような政策を行う必要があるのだろうか。	・他の事例を参考に、広陵町に導入できるものを地域に合ったアレンジ・補強するとともに、新たな策を考えさせる。	☆インターネット
まとめ	○まとめ	○ワークシートに整理しよう。	・次回、政策について発表することを伝え、発表の内容についても考えさせる。	

第3時 「地域の公共交通について考えよう」

過程	学習内容	主な発問と 予想される児童の反応	指導上の留意点	資料
導入	○広陵町のコミュニティバス利用率向上の取組	○広陵町のコミュニティバスの利用率向上の取組について、前時に話し合った提案内容を発表しよう。 ○提案内容について、優れている点や改善を要する点を発表しよう。	・根拠を明らかにして、コミュニティバス利用率向上の手立てを提案する。 ・各班の意見を交流し、優れている点、改善すべき点を考えさせる。	☆ワークシート
展開	「地域の公共交通」について考えよう			
	○コミュニティバスの良い点と悪い点	(良い点) ・駐車がいない ・安くて乗り心地がいい (悪い点) ・時間どおりに来ない ・途中で降りられない ・バス停が少ない	・児童が身をもって体験し考えていることをできるだけ多く意見として出させる。	☆写真 「広陵元気号」
	○町の中でコミュニティバスはどんな役割をしているのだろう	・電車より短い距離を細かく移動できる ・高齢者や障害をもつ人も乗れる ・環境に優しくエコな乗り物	・広陵町がコミュニティバスを運行している理由を考えさせる。	☆バス運行ルート
	○町を活性化するために「広陵元気号」をどう改善したらいいだろう。	・短い間隔(5分間隔)でコミュニティバスが運行できるように考える ・コミュニティバスにフリーWi-Fiを付ける ・自家発電するエコなバスを開発する ・ポイントカードを作る	・大人にはない子ども目線の自由な意見を提案させる。	☆ワークシート
まとめ	○まとめ	○ワークシートに整理しよう。	・ワークシートに学習したことをまとめさせる。	☆ワークシート